



5期目走り出しています!

本年7月に行われました仙台市議会議員選挙におきましては、市民の皆様からご支援を賜り、5期目の当選をさせていただきました、皆様の真心に感謝の思いでいっぱいでございます。

新たに設置された子育て環境充実調査特別委員会では委員長の任を拝命し、審議会においては、仙台市地域保健・保健所運営協議員、社会福祉審議会民生委員審査専門分科委員を市長から委嘱され、責任の重さに身が引き締まる新たな出発となりました。

決算審査特別委員会では3度の質疑に登壇し、市民の皆様のご意見をしっかり届け改善策を講じることができました。年末に向けては、令和6年度の予算

編成や第4回定例会が、皆様のための施策となるよう議論の準備にしっかり取り組んで参ります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公職選挙法により、当選御礼の挨拶は差し控えさせていただきます。

小田島久美子



請願提出

文部科学省へ／不登校全国ネットワーク

盛山正人文部科学大臣に「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」中村みちよ代表、中林和子代表、朝倉景樹さんが請願書を提出。浮島智子衆議院議員に同団体の要望を丁寧に聞いていただき橋渡しをしていただきました。安江伸夫政務官、下野六太参議院議員と共に小田島も同席しました。

全国ネットからはアンケート調査結果も提出。家庭の困難な現状を訴え、経済的支援と教育機会確保法の学校、教師、保護者への周知と理解の広がりを求めました。民間施設への財政的支援は自治体毎に異なること、確保法の理解が深まる滋賀県のリーフレットについても紹介されました。

大臣からは、不登校の現状の御認識と民間施設への委託事業や連携強化、今後に向けての国の方向性を示していただきました。

仙台市へ／障がい児支援、保護者、団体

障がい児支援の改善についての要望書を、保護者、団体等の皆様と市長に提出しました。

仙台市では、発達障害支援センター（アーチル）が学校保育園等の連携で相談の大半を担い、相談待機期間は最大4ヶ月。また、発達障害児と医療的ケア児・重症心身障害児とでは障害の重篤さ、必要な支援内容・サービスが異なるにもかかわらず一律同じ列に並んでいます。

障害児支援については、各民間事業所も尊重されますが、保護者が自力で調べることが多く、センター以外の選択肢を知らなかったという方もあります。周知と理解が十分とはいえません。

相談期間の短縮などを求め市長に要望しました。

仙台市長からは、早急に改善していくとの回答がありました。

要望提出



▶ 令和5年第3回定例会 決算等審査特別委員会 第2分科会

第3回定例会録画▶



令和4年度不登校対策児童生徒の自立を 目指して実施した新規事業の評価等

小田島 不登校の理解を深める情報誌withが、どのような不登校対策支援に繋がってるのか。

教育相談課長 専門の先生のご意見、不登校情報、適応指導センター等の情報、フリースクールに関しては2つ代表で紹介。訪問しているフリースクール、民間団体をQRコードから確認できるようにした。連携している民間施設団体について、学校でなかなか理解が進んでないというのが現状。適応指導センターを介して、情報を保護者に的確に伝えるように努めている。



小田島 教育局として十分に不登校児童生徒の支援に繋がるような、民間事業者の資料を提供していただきたい。保護者向けwithは仙台市サイト「不登校児童生徒等への支援」に掲載▶



教育相談課長 教職員向けwithを作成し周知を図った。詳しいところまで学校で把握しづらいところ。学校から保護者に情報提供する仕組みを作って支援に当たりたい。

小田島 情報誌の発行だけが新規事業だが、教育機会確保法7年目。理解促進のための1冊であれば、もう少し内容を吟味して情報提供できたのではないかと思う。

教育長 保護者の皆さん、教員も含めて、しっかりと理解いただけるようにということで、冊子を作らせていただいた。掲載しきれなかったところについてはまた別な様々な方法で、保護者や教員に向けて発信し、理解していただけるようにしていきたい。

小田島 フリースクールにはどんな調査を行っているか。

教育相談課長 現在フリースクールの方の予算的なものとかは、適応指導センターが出席扱いをする際の聞き取り等で確認している。また、通う子供たちの人数等も把握しており、その子供たちがどれくらいの距離で通っているかなど、調べているところ。

小田島 教育局がスピード感を持って、仙台教育機構2021に示している教育機会確保法の地方公共団体の施策の策定にしっかりと取り組んでいただきたい。

教育長 不登校対策検討委員会では、これからの対策、どんなものが必要なのか、議論をいただいている。そういった議論、それから他都市のいろいろな状況も踏まえながら、スピード感を持って今後の対策、検討をして参りたいと思っている。

市民協働推進／事業の実施状況や課題について

小田島 事業評価が最も厳しかった市民協働事業提案制度事業の課題は何か。

答 弁 実施事業が1件ということで目標の4件には至らなかった。制度の周知に課題があった。広報の工夫、事前相談回数を増やすなど、認知拡大に努める。

小田島 市民が制度を提案することへのハードルの高さ、手続きの煩雑さに課題がある。

答 弁 提案をする団体、事業に取り組む市の担当課との連携と役割分担を共有する必要がある。事前相談における聞き取り強化、庁内各部署との日頃からの情報共有に努める。

小田島 地域協働サポートプログラム、将監複合施設・みんなのサロンの評価について。また、「始末書」の提出を求められる事態があったという件について。

答 弁 地域が主体となって管理・運営する、本市にとって今後の地域施設におけるモデルの一つとなるものと認識している。区の衛生課が食品衛生監視業務の一環で調査に入った際、通常「始末書」という名称を使用して報告書を求めることから、そのままの言葉を使ってしまった。

泉区長 高齢者を中心に生きがいや賑わいを生み出すことを目指して、行政と地域の皆様とが協議を重ね、今後の地域施設のあり方のモデルケースとしてできた。区役所としても一丸となって取り組んでいくものと認識。十分に反省し地域の方々と信頼関係を再構築して進んでまいりたい。

市民局長 今後の本市の地域の居場所づくりのモデルケースになるもの。市民局としても泉区役所など関係局と連携を密にしながら、取り組んでまいりたい。

AED



社の都ハートエイド
[応急手当協力事業所]

応急手当協力事業所にはステッカーなどを交付▶



社の都ハートエイド事業／AED設置について

小田島 AEDの設置場、他都市では屋外への移動が進んでいる。加えて現在のAED設置空白地域についても今後の展開を求める。

答 弁 屋外設置は目につきやすく、時間帯に関わらず使用できるメリットがある一方、寒冷／高温期における温度管理や点検等これに要する費用面などが課題あるが、新たに設置する場合は配慮を働きかける。更にAEDの設置数が相対的に少ない地域もあり、普及啓発を進めるために配置状況等にも留意していく。

小田島 救命入門コースの目標、受講状況、受講後のアンケート調査実施や、児童生徒向けの動画等について。

教育長 受講者目標数4,200人、実績は4,854人。アンケート等については、救命入門コースの効果を測り、今後の指導方法の参考とする上でも有効であることから、実施方法を検討していく。動画や画像など視覚に訴える方法は非常に効果的であり、動画を活用した効果的な指導方法や、新たなコンテンツ等の作成を検討していく。

【式典出席】根白石小学校創立150周年式



明治6年開校、仙台市内唯一の木造校舎。独特な肩折れ屋根の正面玄関はノスタルジーを感じさせてくれます。



歴史を振り返って、地域の方々が参加してのパネルディスカッションがあり、貴重なお話を拝聴しました



【式典出席】学びの多様化学校「ろりぽっぷ小学校」開校式



坪沼小学校跡地に設置された「ろりぽっぷ小学校」。今年4月の開校から7カ月、子どもたち、地域の方々と共に開校のお祝いさせていただきました。子どもたちが開校式の司会運営を行い、これまでの活動の動画も作成し紹介されました。式後は参観があり伸び伸び過ごす様子に触れてまいりました。



【参加】第62回仙台市民健康ウォークラジオ体操 第20回ニュースポーツいきいきフェスティバル

地域の体育振興会の方々が中心に、自宅からシェルコム仙台迄歩き、その後一同に介してラジオ体操の基礎を確認、気持ちの良い汗を流しました。開会式では、出席議員をご紹介頂き、多くの区民の皆様のお声かけに感謝申し上げます。

【参加】令和5年度仙台市泉区総合防災訓練

寺岡小学校を会場として、寺岡連合町内会、紫山連合町内会、寺岡中学校など関係団体と泉区の協働により「令和5年度仙台市泉区総合防災訓練」が開催され訓練に参加しました。障がいをお持ちの方々の避難者受付などを生徒が担当し、実際の対応さながら緊張しながら、様々確認が行われました。

